

大府市議会議員

大東小学校区 若草町在住

いなば
稻葉ゆかり

活動レポート

vol.9 2025年夏号



大府市議会議員として3年目を迎えました。今年度は総務委員会に所属し、「社会課題の解決に向けた連携について」をテーマに、様々な社会変容によって引き起こされている地域問題の解決を目指して調査研究に取り組みます。また、知多北部広域連合の監査委員に2年任期で選任されました。大府市をはじめ、東浦町・東海市・知多市の4つの市町が連携するこの広域連合において、介護保険制度の適正な運用と持続可能な仕組みづくりに尽力してまいります。高齢化が進む中で、安心して介護サービスを受けられる環境の整備は喫緊の課題です。現場の声に耳を傾けながら、広域的な視点で制度の充実を図り、皆様の暮らしを支える一助となれるよう誠心誠意取り組んでまいります。

皆さまの声が行政に届きました

ハツ屋大池公園東駐車場付近
(大府市共西町地内)

近隣にお住まいの方から、「ガードレールのすぐ奥は約2メートルの高さがある崖状になってしまっており、隙間から小さなお子様が転落すると危険」とのご相談を受け、行政に相談したところ、隙間からの転落防止用にガードパイプを設置してくださいました。



大府児童老人福祉センター
(大府市桃山町)

センター内の男性用トイレに洗浄機付き便座を取り付けてほしいという要望を行政に提出しておりました。1階男子トイレと1階多目的トイレに温水洗浄便座の設置が完了し、快適に利用いただけるようになりました。

また、子育て中の皆様からの声が行政に届き、多目的トイレにはベビーチェアとベビーベッドが設置されました。



「178
の日!!」

【継続している活動】雨の日も、雪の日も！ 勝手に決めた「178の日」毎月第一桁 1のつく日、の朝7時～8時に(1日、11日、21日、31日)大府駅東口を中心に、あいさつ運動とゴミ拾い活動を実施しています。皆様のお声掛け大歓迎です！お困りごとなどもお聞かせください。

いなば 稻葉ゆかり一般質問

令和7年6月2日～6月18日 第2回定例会

詳しくは→

大府市議会 本会議録画配信

検索

配信動画は
こちらから！



子育て支援職の持続可能な就労環境について

Q 産前・産後サポーター派遣事業の利用実績の推移と需給バランスの現状は？

A 令和5年度は延べ141回、令和6年度は延べ240回の利用があり、出産された家庭の約1割が本事業を活用された。全ての依頼に対応できていることから、需要と供給のバランスは適切に保たれている

Q 保育士の業務負担増加に関する市の現状把握と、具体的な対応策は？

A 働きやすい職場環境整備を促進するため、ICTの導入やノンコンタクトタイムによる業務の効率化、保育士の積極的な採用による負担軽減を図ってきた。また、本年度新たに「保育園巡回員」を任用し、指導保育士とともに巡回相談・指導体制を強化し、保育士の育成・サポートに取り組んでいる

答弁を受けての所感

大府市は、子育て中のご家庭の経済的負担に配慮した子育て支援事業が充実しています。子育てがしやすいまちであると実感されている方も多いのではないでしょうか。一方で、どの職業分野においても扱い手不足に悩む昨今、産前産後サポーターを含む子育て支援事業の扱い手や、保育士の業務負担はかなり増加しているのではないか？と考え、一般質問のテーマに掲げました。

保育現場からは、「短時間勤務を取得しにくい」とか、「仕事量の割には給与が低い」という声も聞こえています。保育士が働きがいを感じながら、各自が希望する働き方を選択しやすい職場環境に整えることが重要です。大府市の公立保育園では総合保育支援システムが導入されています。このシステムにより得られる客観的なデータをうまく活用し、勤務実態や業務遂行率などエビデンスに基づいた数値によって現場状況を把握し、具体的な改善に取り組む必要があると考えます。

今後も子育て支援事業を利用する側と扱い手側の双方にとって、満足度が向上する事業となるよう期待します。

稻葉ゆかり

その他の活動(市民の皆さまの声をじかに聞く、自ら成長し続ける)

大府コミュニティ環境部会主催 春の花植え

大府コミュニティ推進協議会の部員さんや地域の親子連れの皆様方ときれいな花を植え、大府駅前の花壇が華やかに彩られました。このような活動は、自分たちが住むまちへの郷土愛を育み、地域住人同士の顔の見える関係づくりを円滑にする効果があると感じます。私自身も毎回とても楽しく参加させていただいております。



地域公共交通プロデューサー養成講座（個人活動）

名古屋大学において加藤博和教授が代表で開催された講座「2024年度 地域公共交通プロデューサーコーディネーター養成講座 ベーシックコース」を受講し、修了しました。地域公共交通に関しては、どの自治体においても深刻な問題となっています。これから更に加速する少子高齢化時代に、日々の生活に困らずに済むような移動の確保が求められます。自治体ごとの特性に合致した最善の策を行政と共に考えていきたいです。



稻葉ゆかり後援会へのご入会を随時募集しております！（右のQRコードで公式サイトからどうぞ）

入会時にメールアドレスをお知らせいただいた方には、毎月1日と15日にメールマガジンを配信させていただいております。都度取り組んでることや思っていることなど、赤裸々につぶやいております。

発行元：稻葉ゆかり後援会（070-9056-1780）

inabayukari.com

